

Shiro Kashimura's Publications List 1978 - 2013

(Updated 2014.5.12)

2013 -----

- [110] 榎村志郎, 書評・小宮友根著『実践の中のジェンダー—法システムの社会学的記述』(新曜社, 2011年), 法社会学, 79号, 229-234頁, 2013年9月.
- [109] 佐藤岩夫・榎村志郎編, 労働審判制度をめぐる当事者の語り—労働審判制度利用者インタビュー調査記録集, 東京大学社会科学研究所調査報告集, 2013年3月.
- [108] 榎村志郎, 社会的構築(コラム), 片岡邦好・池田佳子編, コミュニケーション能力の諸相—変移、共創、身体化, ひつじ書房, 343-345頁, 2013年3月.
- [107] 榎村志郎, 法における共通理解の達成と維持, 片岡邦好・池田佳子編, コミュニケーション能力の諸相—変移、共創、身体化, ひつじ書房, 311-342頁, 2013年3月.
- [106] 榎村志郎, 労働審判紛争の社会的構造—問題定義の記述形式を通じて—, 菅野和夫・仁田道夫・佐藤岩夫・水町勇一郎 編, 労働審判制度の利用者調査—実証分析と提言, 有斐閣, 154-172頁, 2013年3月.

2012 -----

- [105] 榎村志郎, ハロルド・ガーフィンケル・メモリアル・カンファレンスに出席して, 日本EMCA研究会ニュースレター, 2012年3月.
- [104] 榎村志郎, 2011年度学術大会緊急企画「災害・救援・復興をどうとらえるか?」について, 法社会学76号, 2012年3月.
- [103] 榎村志郎, 若い研究者に—自戒をこめて. 日本法社会学会報, 日本法社会学会, 2012年1月.

2011 -----

- [102] 榎村志郎, 法社会学にとって「地域社会」とは何か, 法社会学, 74号, 78-88頁, 2011年3月.

2010 -----

- [101] 榎村志郎, トラブル・支援・相談行動—法使用行動調査の対象と方法, 榎村志郎=武士侯敦編, トラブル経験と相談行動(現代日本の紛争処理と民事司法 2), 東京大学出版会, 3-27頁, 2010年10月.
- [100] 榎村志郎・武士侯敦, はしがき, 榎村志郎=武士侯敦編, トラブル経験と相談行動(現代日本の紛争処理と民事司法 2), 東京大学出版会, v-ix頁.
- [99] 榎村志郎・武士侯敦編, トラブル経験と相談行動(現代日本の紛争処理と民事司法 2), 東京大学出版会, 2010年10月.
- [98] Kashimura Shiro, Hearing Client's Talk as Lawyer's Work:

The Case of Public Legal Consultation Conference. (A draft to be included as a chapter in Boudouin Dupret, Tim Berard & Michael E. Lynch (eds.) *The Parxiology of Law: Studies in Ethnomethods*. (On file in August, 2010).

2009 -----

[97] Kashimura Shiro, Book Review: Kazoku Kyotei no Hoshakaigaku-teki Kenkyu (A Treatise of Sociology of Law upon Family Agreements) *Social Science Japan Journal* (2009) 12(2): 340-343 (first published online July 28, 2009 doi:10.1093/ssjj/jyp023.

doi:10.1093/ssjj/jyp023. 2009年7月.

[96] 榎村志郎, 司法過疎の現状と課題—地方社会における司法需要とサービス探索に即して—, 月報司法書士, 2009年7月号2-10頁, 2009年7月.

[95] 榎村志郎, 日常と法における事実確定—日常会話と法律相談を素材として—, 青山善充先生古希祝賀論文集・民事手続法学の新たな地平, 有斐閣1049-1071頁, 2009年4月.

[94] Kashimura, Shiro, Some Varieties of Advice Seeking in Ordinary Life: Influences of Family and Constellation of Specialist Advisers, and Implications for Legal Policy, 特定領域研究ワーキングペーパー第5集, 1-51頁, 2009年3月.

2008 -----

[93] 榎村志郎編, 法使用行動調査基本集計書, 特定領域研究「法化社会における紛争処理と民事司法」法使用行動調査研究グループ, 2008年12月.

[92] 榎村志郎, 労働紛争と法的対処行動--今日の日本における個別労働紛争を焦点として--, 日本労働研究雑誌, 581号13-25頁, 2008年11月.

[91] Kashimura, Shiro, Underserved by Law: The Lack of Legal Service and Appraisal of Reform Measures, Shiro Kashimura & Akira Saito, editors, *Horizontal Legal Order: Law and Transaction in Economy and Society*, Kobe: Centre for Legal Dynamics of Advanced Market Societies, Kobe University & Singapore, Lexis/Nexis, 2008, 251-278.

[90] Kashimura, Shiro, Beginning A Legal Consultation: A Sequential Analysis, Shiro Kashimura & Akira Saito, editors, *Horizontal Legal Order: Law and Transaction in Economy and Society*, Kobe: Centre for Legal Dynamics of Advanced Market Societies, Kobe University & Singapore, Lexis/Nexis, 2008, 2008, 197-219.

[89] Kashimura, Shiro, Legal Dynamics: A Multi-Disciplinary Inquiry into Law in the Era of Globalization, Shiro Kashimura & Akira Saito, editors, *Horizontal Legal Order: Law and Transaction in Economy and Society*, Kobe: Centre for Legal Dynamics of Advanced Market Societies, Kobe University & Singapore, Lexis/Nexis, 2008, 3-24.

[88] Kashimura, Shiro & Akira Saito, Introduction, Shiro Kashimura

& Akira Saito, editors, *Horizontal Legal Order: Law and Transaction in Economy and Society*, Kobe:Centre for Legal Dynamics of Advanced Market Societies, Kobe University & Singapore, Lexis/Nexis, 2008, iii-xi.

[87] Kashimura, Shiro & Akira Saito, editors, *Horizontal Legal Order: Law and Transaction in Economy and Society*, Kobe:Centre for Legal Dynamics of Advanced Market Societies, Kobe University & Singapore:Lexis/Nexis, 2008.

[86] 榎村志郎, 公共性--<私的なもの>からのアプローチ, 法社会学, 68号25-38頁, 2008年3月.

[85] 榎村志郎, 制度への疑問--ある警察からの電話の分析--, 現代社会学理論研究, 2号3-13頁, 2008年3月.

[84] Kashimura, Shiro, *The Design and Methodology of the Research of The 2006 National Survey on Legal Advice Seeking*, 特定領域研究ワーキングペーパー第2集, 79-95頁, 2008年1月.

2007 -----

[83] 榎村志郎, 規範と交渉 (法動態学叢書・水平的秩序 1), 法律文化社, 2007年11月.

[82] 榎村志郎, 水平的秩序の法—グローバル性のもとでの法、政治、市民社会の再定義—, 榎村志郎編, 規範と交渉 (法動態学叢書・水平的秩序 1), 法律文化社, 1-51頁, 2007年11月.

[81] 榎村志郎編, 規整と自律 (法動態学叢書・水平的秩序 3), 法律文化社, 2007年11月.

[80] 榎村志郎, 刊行のことば, 榎村志郎編, 規範と交渉 (法動態学叢書・水平的秩序 1), 法律文化社, 2007年11月.

[79] 榎村志郎, はしがき, 榎村志郎編, 規範と交渉 (法動態学叢書・水平的秩序 1), 法律文化社, 2007年11月.

[78] 榎村志郎, はしがき, 榎村志郎編, 規整と自律 (法動態学叢書・水平的秩序 1), 法律文化社, 2007年11月.

[77] 榎村志郎, 司法過疎の歴史と現在, 法学セミナー, 日本評論社, (636号) 52巻12号27-31頁, 2007年11月.

[76] 榎村志郎, 日本における調停—その概念、イデオロギー、現実—, 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 57巻1号1-31頁, 2007年6月.

[75] 榎村志郎・高橋裕, 調停の法動態学—水平的秩序・紛争・法—, JCAジャーナル, 日本商事仲裁協会, 2007年2月号56-78頁, 2007年2月.

[74] 榎村志郎, 過疎地の司法アクセスと司法書士, 月報司法書士, 日本司法書士会連合会, 419号4-13頁, 2007年1月.

2006 -----

[73] 榎村志郎, 司法過疎とは何か, 林信夫・佐藤岩夫編, 法の生成と民法の体系 : 無償行為論・法過程論・民法体系論 : 広中俊雄先生傘寿記念論集, 創文社, 417-462頁, 2006年12月.

[72] 榎村志郎, 対話と法—法社会学の視角から—, 法律時報, 日本評論社, 78巻12号6-12頁, 2006年11月.

[71] 榎村志郎, 法学の研究・教育におけるシミュレーション, 関西学院大学法科大学院形成支援プログラム推進委員会編, 模擬法律事務所はロースクールを変えるか: シミュレーション教育の国際的経験を学ぶ: 第2回国際シンポジウム報告書, 関西学院大学出版会, 2006年10月.

[70] 榎村志郎編, 弁護士過疎地における法的サービス供給の構造: 事例調査と大量調査を通じて, 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書, 2006年6月.

[69] 細井洋子・西村春夫・榎村志郎・辰野文理, 修復的司法の総合的研究 : 刑罰を超え新たな正義を求めて, 風間書房, 2006年1月.

2005 -----

[68] 榎村志郎, 司法過疎とその対策, 法社会学, 日本法社会学会, 63号, 161-185頁, 2005年10月.

[67] 榎村志郎, 法社会学の主題としての死と生—死の法社会学に向けて, 法社会学, 日本法社会学会, 62号31-40頁, 2005年4月.

2004 -----

[66] 榎村志郎, エスノメソドロジーと法, 和田仁孝・太田勝造・阿部昌樹編, 法と社会へのアプローチ, 日本評論社, 2004年10月.

[65] 和田仁孝・榎村志郎・阿部昌樹編, 法社会学の可能性, 法律文化社, 2004年8月.

[64] 榎村志郎, 相談の語りとその多様性, 和田仁孝・榎村志郎・阿部昌樹編, 法社会学の可能性, 法律文化社, 2004年8月.

[63] 榎村志郎, 法動態学の構想—グローバル化の時代における多元的法律学, 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 54巻1号3-38頁, 2004年6月.

[62] 榎村志郎, 法現象の分析, 山崎敬一編, 実践エスノメソドロジー入門, 有斐閣, 2004年6月.

[61] 榎村志郎, 学際的ということ, 日本法社会学会学会報, 日本法社会学会, 66号1頁, 2004年1月.

2003 -----

[60] 榎村志郎, 法社会学の現在—特集・法—その実践的基盤—を編んで, 書齋の窓, 有斐閣, 521号14-19頁, 2003年0月.

[59] 輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究委員会編, 輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究・第1次報告書, 輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究委員会, 2003年0月.

2002 -----

[58] 榎村志郎, 実定法について—エスノメソドロジーの視角から—, 佐藤進=齊藤修編集代表, 現代民事法学の理論—西原道雄先生古稀記念—・下巻, 信山社, 779-807頁, 2002年10月.

[57] 榎村志郎, 企画趣旨・特集・法—その実践的基盤—, 法社会学, 日本法社会学会, 57号1-4頁, 2002年9月.

[56] 榎村志郎, 法科大学院における法社会学講義案, 法律時報, 日本評論社, 74巻9号, 2002年8月.

[55] 榎村志郎, 法律相談の会話分析—制度的アイデンティティの呈示とトピック生成—, 菅原郁夫他編, 21世紀の法律相談・現代のエスプリ, 至誠堂, 415号92-101頁, 2002年2月.

[54] 榎村志郎, 相談先行連鎖, 新堂幸司先生古稀記念論文集・民事訴訟法理論の新たな構築・上, 有斐閣, 163-192頁, 2002年0月.

[53] 榎村志郎, 書評・法の言説分析(棚瀬孝雄編), 理論と方法, 数理社会学会, (31号)17巻1号122-125頁, 2002年0月.

2001 -----

[52] 榎村志郎, 法的トークの制度的特徴—法律相談場面の会話分析—, 語用論研究, 日本語用論学会, 第3号86-100頁, 2001年0月.

2000 -----

[51] 榎村志郎, 震災・学生ボランティア・大学, 大学と学生, 日本学生支援機構, 429号45-52頁, 2000年10月.

[50] 榎村志郎, 宗教的世界の会話的構成(2・完), 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 49巻4号83-166頁, 2000年9月.

[49] 榎村志郎, 宗教的世界の会話的構成(1), 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 49巻3号139-190頁, 2000年6月.

[48] 榎村志郎, 家事調停および民事調停過程のコミュニケーション分析, 文部省科学研究費補助金研究成果報告書, 2000年6月.

[47] 榎村志郎, 法律相談と弁護士法72条, 月刊司法改革, 現代人文社, 8号19-23頁, 2000年5月.

[46] 榎村志郎, 九七-九九年度企画「構造変容と法社会学」を振り返って, 法社会学, 日本法社会学会, 52号59-63頁, 2000年3月.

1999 -----

[45] 榎村志郎・菅野昌史, 契約過程の方法的組織化, 棚瀬孝雄編, 契約法理と契約慣行所

収, 弘文堂, 233-249頁, 1999年11月.

[44] 榎村志郎, 合意の観察可能性, 井上治典=佐藤彰一編, 現代調停の技法所収, 判例タイムズ社, 294-307頁, 1999年9月.

[43] 榎村志郎, 共同性の法社会学にむけて, 法社会学, 日本法社会学会, 51号8-21頁, 1999年3月.

[42] 榎村志郎, 震災報道の会話分析, 山田富秋=好井裕明=西阪仰編, 会話分析への招待所収, 世界思想社, 148-172頁, 1999年2月.

1998 -----

[41] 榎村志郎, 裁判外紛争, 日本法社会学会編, 法社会学の新地平所収, 有斐閣, 85-95頁, 1998年10月.

[40] 榎村志郎, 規範の身体--エスノメソドロジーの犯罪社会学への応用--, 日本犯罪社会学会編, 犯罪社会学研究, 立花書房, 23号23-33頁, 1998年10月.

[39] 池田謙一・榎村志郎・廣井修・似田貝香門, 阪神・淡路大震災に学ぶ-情報・報道・ボランティア-, 白桃書房 (ヘボン叢書・明治学院大学公開講座), 1998年8月.

[38] 榎村志郎, エスノメソドロジーとは何か?, 日本ファジィ学会誌, 日本ファジィ学会, 10巻1号2-10頁, 1998年2月.

[37] 榎村志郎, 法社会学とエスノメソドロジー, 山田富秋・好井裕明編, エスノメソドロジーの想像力所収, せりか書房, 224-237頁, 1998年2月.

[36] 榎村志郎, 相对交渉, 小島武司・伊藤眞編, 裁判外紛争処理法所収, 有斐閣, 50-59頁, 1998年1月.

1997 -----

[35] 榎村志郎, 視線と法廷, 山崎敬一・西阪仰編, 語る身体・見る身体, ハーベスト社, 186-213頁, 1997年12月.

[34] 榎村志郎, 裁判外紛争処理における弁護士の関与, 法社会学, 日本法社会学会, 49号52-62頁, 1997年4月.

[33] 榎村志郎, 戦後日本社会と川島法律学, 神奈川大学評論, 神奈川大学広報委員会, 26号133-149頁, 1997年3月.

1996 -----

[32] 榎村志郎, 法律相談における協調と対抗, 棚瀬孝雄編, 紛争処理と合意, ミネルヴァ書房, 209-234頁, 1996年10月.

[31] 榎村志郎, 民事裁判改革と弁護士, 法律時報, 日本評論社, 68巻11号27-31頁, 1996年10月.

[30] 榎村志郎, 会話分析の課題と方法, 実験社会心理学研究, 日本グループダイナミックス学会, 36巻1号148-159頁, 1996年6月.

1995 -----

[29] 榎村志郎, 市民から見た法律相談, 大阪弁護士会会報, 大阪弁護士会, 202号43-46頁, 1995年12月.

1994 -----

[28] 榎村志郎, <席交替>の社会的達成, 現代社会理論研究, 現代社会理論研究会, 4号187-199頁, 1994年11月.

[27] 榎村志郎, 法律相談制度の可能性, 自由と正義, 日本弁護士連合会, 45巻2号5-11頁, 1994年2月.

[26] 榎村志郎, 権利意識と法行為, 棚瀬孝雄編, 現代法社会学入門, 法律文化社, 239-265頁, 1994年2月.

1993 -----

[25] 皆川満寿美・榎村志郎・藤村正之, 共同作業所の社会学のためにー社会福祉施設をめぐるフィールドワークより, 武蔵大学人文学会雑誌, 武蔵大学人文学会, 25巻2・3号103-150頁, 1993年12月.

[24] 榎村志郎, 社会過程としての法解釈, 法社会学, 日本法社会学会, 45号64-73頁, 1993年5月.

[23] 榎村志郎, 議論による法律学の基礎づけは成功したか, 神戸法学年報, 神戸大学法学部, 8号1-21頁, 1993年2月.

[22] 榎村志郎, 川島法社会学における規範の地位, 法律時報, 日本評論社, 65巻1号59-62頁, 1993年1月.

1992 -----

[21] 榎村志郎, 労使紛争解決システムー法社会学の視角から, 日本労働法学会誌, 日本労働法学会, 80号83-101頁, 1992年10月.

[20] 榎村志郎, 法的もめごとへの新しい対応, 高校通信 東書 現代社会 倫理 政治・経済, 東京書籍, 1992年9月1日号4-5頁, 1992年9月.

[19] 榎村志郎, 法律的権利実現の諸手続, 正亀正介・古林稔編, 法学, 学術図書出版社, 155-168頁, 1992年5月.

[18] 榎村志郎, 法律的探究の社会組織, 好井裕明編, エスノメソドロジーの現実, 世界思想社, 88-110頁, 1992年2月.

1991 -----

[17] 榎村志郎, 交渉と和解, 木下富雄・棚瀬孝雄編, 法の行動科学, 福村出版, 238-260頁, 1991年9月.

[16] 榎村志郎, 労働事件における裁判官の経歴と判決ー司法行政研究資料(1), 神戸法

学雑誌, 神戸大学法学部, 41巻1号325-206頁, 1991年6月.

[15] 榎村志郎, 労働仲裁の社会的秩序, 三ヶ月章先生古希祝賀・民事手続法学の革新(上)所収, 有斐閣, 649-680頁, 1991年6月.

[14] 榎村志郎, 法律現象のエスノメソドロギーにむけて, 神戸法学年報, 神戸大学法学部, 6号73-99頁, 1991年2月.

1990 -----

[13] 榎村志郎, アメリカ合衆国における民事紛争解決のための課題, 自由と正義, 日本弁護士連合会, 44巻4号54-60頁, 1990年4月.

[12] 榎村志郎, わが国の労使紛争における当事者の背景報告-不当労働行為紛争を素材として(2), 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 40巻1号1073-1096頁, 1990年3月.

[11] 榎村志郎, 組織体の交渉行動と原局中心主義, 神戸法学年報, 神戸大学法学部, 5号107-131頁, 1990年2月.

1989 -----

[10] 榎村志郎, もめごとの法社会学, 弘文堂(新装版1997年4月), 1989年12月.

[09] 榎村志郎, サンフランシスコ少額請求裁判所における事件処理, 神戸法学年報, 神戸大学法学部, 4号129-210頁, 1989年2月.

[08] 榎村志郎, 紛争行動と文化的説明-日本の労働争議における文化の使用法, 藤倉皓一郎・長尾龍一編, 国際摩擦-その法文化的背景所収, 日本評論社, 91号174-202頁, 1989年1月.

1987 -----

[07] 榎村志郎, わが国の労使紛争における当事者の背景報告-不当労働行為紛争を素材として(1), 神戸法学雑誌, 神戸法学会, 37巻1号19-79頁, 1987年3月.

[06] 榎村志郎, アメリカにおける新しい法学教育の一事例とその応用-調停と交渉の臨床的教育, 月刊法学教室, 有斐閣, 28-32頁, 1987年3月.

1984 -----

[05] 榎村志郎, 裁判外の紛争解決-ひとつの実例を通じて, 日本評論社編, 現代の裁判, 日本評論社, 139-147頁, 1984年10月.

[04] 榎村志郎, 民事訴訟と経験科学的研究, 新堂幸司編, 講座・民事訴訟・1・民事紛争と訴訟, 弘文堂, 335-354頁, 1984年5月.

1983 -----

[03] 榎村志郎, 自主的解決, 芦部信喜他編, 岩波講座・基本法学・8・紛争, 岩波書店, 91-121頁, 1983年10月.



1982 -----

[02] 榎村志郎, 公益弁護活動における弁護士の業務行動, 日本評論社編, 現代の弁護士・市民篇, 日本評論社, 166-175頁, 1982年10月.

1978 -----

[01] 榎村志郎, アメリカにおけるクラス・アクションの実情—その1, ジュリスト, 有斐閣, 672号43-59頁, 1978年9月.